



## 学習発表会に向けて



先週、代表委員会があり、学習発表会のテーマが『思いを込めて表現しよう ～可能性は無限大～』に決まりました。テーマを決めた背景には、**作品づくりやステージ発表練習では、自分の(自分たちの)限界を決めず、可能性を信じて、「こうしたらもっとよいものができるのではないか」「こんなふうにやってみよう」と最後まであきらめずに努力したい**という子供たちの思いがあったと聞いています。ステージ発表をする学年も、作品発表をする学年も、ぜひ自分たちにできることを自分たちで考え、よりよい学習発表会にしてほしいと願います。

学習発表会まで1か月を切りました。最近では、体育館で踊りや運動の練習をしたり、ランチルームやプレイルームでせりふの読み合わせや歌の練習をしたりしている姿をよく見かけます。また、いろんな学年が次々に図工室に来室し立体作品を作ったり、教室で絵を描いたり習字をしたりしている姿も見かけます。今のところ、新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも流行していません。校長だより11号(8月29日付)でもお知らせしたとおり、今年は入場制限をしないで学習発表会を実施したいと思いますので、祖父母や地域の皆様もぜひ子供たちの頑張りを見に来てください。

## 学校に新しい風が

2学期から週に1日ずつ、富山大学の1年生の学生が“学びのアシスト”や“スタディメイト・ジュニア”という立場で、子供たちの学習支援に来てくれています。児童数の多い本校には今年6名の学生が配置されました。各学年に一人程度の配置なので全学級にとはいきませんが、時間割ごとにいろんな学級に入り学習支援をしてくれるので、学校としてはありがたいです。何ととっても、休み時間に子供たちと一緒に遊んでくれるので、子供たちにとっても大変うれしい存在です。学生さんの周りには、いつも子供たちが群がっています。



これは富山県教育委員会が大学と連携し10年以上前から進めている取組で、学校にだけ利点があるわけではなく、大学や学生にとっても利点があります。将来教員を目指す学生にとって、大学では理論等、頭の中での勉強はできますが、教育現場での経験はできません。教育実習を行う前に、実際の教育現場を観ることや実際に子供とふれあうことは、大変よい勉強になります。職業選択は、人生において大切な岐路です。自分が教員として向いているのか？向いていないのか？見極めるよい機会にしてほ

しいと思います。できれば教員としてのやりがいに感じ、教員を目指す気持ちを強めてくれるとうれしいです。



## テトルの活用法について

今年度4月に、これまでの緊急安全メールに代わって使われるようになったテトル。7月からは欠席・遅刻連絡にも使うようになり、朝の煩雑な電話対応もなくなりました。混乱もなく活用できています。

さて、今、思案しているのは、学校から出している様々な文書をテトルで配信してよいか?ということです。本校教員内でも意見がありますし、保護者からの要望もあります。これは、本校だけでなく校長会や市の会議等の中でも話題に上がることがあります。利点は、①学校からの配布物が減る、②印刷しなくてよいので楽である、③紙を使用しないのでSDGsになる、④子供が見せ忘れることがないなど、心配点としては、①テトルでの配信があまりにも増えると、緊急性の高いお知らせが見過ごされてしまうのではないかと、②スマホ等ではお便りが読みにくくないかなどが挙げられています。保護者の皆様は、どうお考えになりますでしょうか。

私には、もう一つ心配事があります。“学校から出たお便りは子供が責任をもって保護者に手渡すもの。”この行為が軽んじられるのではないかとということです。確かに自分の責任で保護者にお便りを手渡すことが難しい保育園や幼稚園では“コドモン”で文書を配信する利点が納得できます。しかし、小学生なら（1年生はどうか分かりませんが）自分の責任において行ってほしいというのが私の思いです。また、タブレット端末での連絡帳の配信も同じです。子供が連絡帳を書かずにタブレットで配信すれば、時間短縮ができます。確実に保護者に連絡が届きます。これについても、子供が大切な連絡をしっかりと聞き取りメモする。家に帰って自分で準備する。大切なことは保護者に伝える。これを習慣付けないで大きくなれば、困るのは子供自身です。

たぶん一律テトルでの配信とはせず、給食だより等、家庭で掲示されそうなものは紙での配布。校長だより等、読んでいただければ幸いというものはテトルのみでの配布、大切なものについてはテトルと紙での両方配布としていくと思います。ただ私の思いは古いのかもしれませんが、こんな思いもあるということは頭の片隅にとどめておいていただければ幸いです。

### 祝:全国小学生バンドフェスティバル出場(管楽器クラブ)

9月11日(日)氷見市ふれあいスポーツセンターにおいて、北陸小学生バンドフェスティバルがあり、管楽器クラブが見事金賞受賞。昨年に引き続き、11月に大阪城ホールで行われる全国大会への切符を手に入れました。大会まで、2か月ほどあります。自分たちの目標に向けて、より高みを目指して、今後も練習を続けてほしいと思います。



(校長 曲師 政隆)